

赤字 → 記載例  
青字 → 注意事項等

令和 年 月 日

〇〇運輸局長 殿

住所 〇〇県〇〇市〇〇町1丁目2番3号  
氏名又は名称 〇〇〇〇〇〇株式会社  
代表者役職氏名 代表取締役社長 〇〇 〇〇  
TEL  
FAX  
メールアドレス

## 一般旅客定期航路事業許可申請書

海上運送法第3条第1項及び同法施行規則第2条第1項の規定に基づき、下記のとおり(航路名)〇〇航路((起点~終点)〇〇~〇〇航路)における一般旅客定期航路事業を経営したいので、関係書類を添えて申請します。

### 記

#### 一. 住所及び氏名

住所 〇〇県〇〇市〇〇町1丁目2番3号  
氏名 〇〇〇〇〇〇株式会社  
代表者役職氏名 代表取締役社長 〇〇 〇〇

#### 二. 役員の氏名

- ・申請者が個人の場合は、「該当なし」と記載する。
  - ・申請者が法人の場合は、登記事項証明書に記載されている全役員を記載する。
- 代表取締役 〇〇 〇〇  
取締役 〇〇 〇〇  
監査役 〇〇 〇〇

#### 三. 事業計画

##### 1. 航路の起点、寄港地、終点及びそれら相互間の距離

〇〇港~ × km ~〇〇港~ × km ~〇〇港

##### 2. 使用旅客船の明細(第1号様式による)

添付書類(使用船舶明細書)のとおり

##### 3. 当該事業に使用する係留施設、水域施設(泊地等をいう)、陸上施設(旅客乗降用施設等をいう)その他の輸送施設(使用旅客船を除く)の概要

###### 【記載例】

公共〇〇岸壁に浮棧橋を設置し、船舶が安全に係留できるようになっています。航路上の水深は、平均〇〇mであり、十分確保され、また、係留時においても、回頭できる広さがあります。旅客の乗降に際しては、乗降用のタラップを用意し、旅客の安全を確保できます。

赤字 → 記載例  
青字 → 注意事項等

令和 年 月 日

〇〇運輸局長 殿

住所 〇〇県〇〇市〇〇町1丁目2番3号  
氏名又は名称 〇〇〇〇〇〇株式会社  
代表者役職氏名 代表取締役社長 〇〇 〇〇  
TEL  
FAX  
メールアドレス

## 旅客不定期航路事業許可申請書

海上運送法第21条第1項及び同法施行規則第23条の3第1項の規定に基づき、下記のとおり(航路名)〇〇航路((起点~終点)〇〇~〇〇航路)における旅客不定期航路事業を営みたいので、関係書類を添えて申請します。

### 記

#### 一. 住所及び氏名

住所 〇〇県〇〇市〇〇町1丁目2番3号  
氏名 〇〇〇〇〇〇株式会社  
代表者役職氏名 代表取締役社長 〇〇 〇〇

#### 二. 役員の氏名

- ・申請者が個人の場合は、「該当なし」と記載する。
- ・申請者が法人の場合は、登記事項証明書に記載されている全役員を記載する。  
代表取締役 〇〇 〇〇  
取締役 〇〇 〇〇  
監査役 〇〇 〇〇

#### 三. 事業計画

##### 1. 航路の起点、寄港地、終点及びそれら相互間の距離

〇〇港~ × km ~〇〇港~ × km ~〇〇港

##### 2. 使用旅客船の明細(第1号様式による)

添付書類(使用船舶明細書)のとおり

##### 3. 当該事業に使用する係留施設、水域施設(泊地等をいう)、陸上施設(旅客乗降用施設等をいう)その他の輸送施設(使用旅客船を除く)の概要

###### 【記載例】

公共〇〇岸壁に浮棧橋を設置し、船舶が安全に係留できるようになっています。航路上の水深は、平均〇〇mであり、十分確保され、また、係留時においても、回頭できる広さがあります。旅客の乗降に際しては、乗降用のタラップを用意し、旅客の安全を確保できます。

#### 4. 運航の時季又は時間

##### 【記載例】

運航の時季: 通年 (年間を通して運航する場合)

〇〇月から〇〇月の間 (期間を限定して運航する場合)

運航の時間: 終日。ただし、夜間の時間帯を除く。等

#### 5. 運航開始予定日

##### 【記載例】

・許可以降、運航が可能となった日 (申請から事業開始まで猶予のない場合)

・令和〇〇年〇〇月〇〇日(予定) (申請から事業開始まで時間的余裕がある場合)

#### 6. 乗合旅客の運送をするものにあつては、その旨

##### 【記載例】

・乗合旅客の運送を行なわない。

・乗合旅客の運送を行う。(起終点が同一で寄港地のない周遊航路等のみ可)

※「運賃及び料金」との整合性に注意すること。